

平成 11 年 6 月 3 日

表彰委員長  
小倉 四郎

## 平成 10 年度表彰について

平成 10 年度の表彰を本年度の定期総会の場で行うこととし、会員から受賞候補者の推薦を募集するとともに、各賞選考部会における検討結果を受けて表彰委員会で審議し、賞の候補者を決定した。(敬称略)

### 1. 功労賞

功労賞は、本会の会員であり、本会の発展に貢献若しくは臭気に関する分野において特に優れた功績を認められた個人に贈呈されるものである。

#### ○ 加藤 征太郎

中央大学理工学部

受賞理由

悪臭公害研究会発足以来、機関誌・講習会において、薬液吸収法・触媒燃焼法による脱臭技術に関する豊富な知見を発表し、会員企業などの研究開発に寄与された。

また、協会創立時から理事に就任され、さらに臭気学会委員及び委員長等の要職を務められ協会の運営と学術面の基盤強化に大いに貢献されており、これらの功績は会員各位のひとしく認めるところである。

### 2. 技術賞

技術賞は、本会の正会員、公共会員および賛助会員である法人会員又はこれらに所属する個人又はグループで、臭気に関する調査研究又は臭気対策技術等に関して顕著な貢献があったと認められる者等に贈呈されるもので次の 3 社に決定した。(五十音順)

#### ○ ABB (株) 代表取締役社長 ラーヴェ・リンドベリ

受賞理由

同社は、はやくから直燃式脱臭装置を実用化し、数多くの実績をあげるとともに、さらに改良を加え処理効率を向上させている。

また、蓄熱燃焼式脱臭装置を世に広め、燃焼式を中心とする総合脱臭装置メーカーとして脱臭分野に多大の貢献をしている。

#### ○ 新コスモス電機 (株) 代表取締役社長 笠原 理一郎

受賞理由

簡便な臭気測定計器のニーズが高まるなか、同社はいち早くポータブル型ニオイセンサーの開発に成功した。

さらに臭気質に適應する多くの機種を実用化した。これらのセンサーは臭気現場等において多数使用され、特に臭気測定分野に多大の貢献をしている。

#### ○ 中外炉工業 (株) 代表取締役社長 谷 川 正

受賞理由

同社は、はやくから直燃式脱臭装置を開発市販しており、その後米国からの技術導入をもとに、新方式の回転式蓄熱燃焼脱臭装置を開発し、軽小化、省力化に成功した。

これらの特色を有する本装置は数多く採用され、脱臭分野に多大な貢献をしている。